

慢性疾患看護専門看護師

分野の役割

慢性疾患は、多くの原因で発症し治癒することはまれな疾患で、ケアの焦点は、「病気とともに生きる (living with illness)」にあります。慢性疾患看護専門看護師が対象とするのは、糖尿病や心不全などの代表的な慢性疾患だけではなく、がんや慢性疼痛など慢性の経過をたどる疾患や病いをもつ人です。予防から治療、エンドオブライフ期までのすべての時期において、質の高い看護を提供できるよう、活動をしています。

活動内容:慢性疾患看護相談 はじめました

病棟：さまざまな時期にある慢性疾患をもつ患者に対するセルフケア支援、意思決定支援、調整、倫理調整等を行います。そのため、救急領域や急性期を扱う病棟でも慢性疾患をもつ患者は入院しており、看護師は発症や急性増悪、手術などを通して関わります。私たちは、病棟カンファレンスにも定期的に参加し、病棟看護師とともに患者のケアや外来への継続支援について検討することを通して慢性疾患への理解や看護展開について教育的関わりも行っています。

外来：在宅酸素療法外来、糖尿病生活相談外来、創傷ケア外来、糖尿病フットケア外来などの看護専門外来において、学会認定士や認定看護師と協働しながら活動を行っています。慢性疾患をもつ人は多くの時間を外来通院で過ごすため、意思決定支援、セルフケア支援や療養先選択等も定期的な外来での面談を通して行っています。

参加しているチーム医療：在宅酸素療法サポートチーム、糖尿病ケアチーム（糖尿病透析予防を含む）、創傷ケア外来、褥瘡対策チーム、がん看護サポートチーム等多数あります。

慢性疾患看護専門看護師の醍醐味

生活者として慢性疾患をもちながら生活する人々とともに歩みながら支援することを通して、看護師としての専門性を実感することができ、じっくり、ゆっくり、忍耐強くかかわることができる領域です。興味がある方はぜひ私たちに話しかけてください。患者さんに対する新しい視点をご紹介します。